

～豊穰の地の未来を拓く～

「飯豊・農の未来賞」企画提案懸賞論文の募集要領

1. 主 催

山形県飯豊町

2. 企画提案に関する論文のテーマ設定

応募論文は、山形県飯豊町の気候や地域資源などを活用した企画提案であることを基本とします。次の二つの提案区分から一つを選択し、具体的な企画提案のタイトルを設定して論文を作成してください。

- 提案区分 ○土地利用型作物の農業振興に関する新たな企画提案
- 町の農業施策全般に関する企画提案

3. 応募者の資格

応募者の資格は特に定めません。また、グループによる共同執筆も可能とします。この場合、代表執筆者を定めてください。

4. 募集期間

平成 25 年 12 月 20 日(金)から平成 26 年 3 月 10 日(月)まで (当日消印有効)。

5. 応募条件

論文の応募は、個人あるいは 1 グループ単位に一編とします。なお、グループで応募する方が、別の論文を個人で同時に応募することはできません。

6. 著作権

応募論文の著作権は、主催者に属するものとします。

7. 応募論文の作成方法

別記のとおりとします。

8. 応募論文の提出方法

郵送での応募に限定して受付けます。封筒の表に「懸賞論文在中」と朱書きして送付してください。封筒には、応募申込用紙、論文コピー (10 部)、CD-R または DVD-R などの電子媒体 (1 枚) を同封してください。なお、送料は応募者の負担となります。

応募申込様式は、飯豊町ホームページ <http://www.town.iide.yamagata.jp/> からダウンロードしてください。

(応募論文の提出先及び問合せ先)

〒 999-0696 山形県西置賜郡飯豊町大字椿 2,888 番地
飯豊町 農林振興課 農業振興室内「飯豊・農の未来賞」係 宛
電話番号 0 2 3 8 - 7 2 - 2 1 1 1 (内線 260)

9. 審査方法

受賞論文は、有識者による審査委員会で一次審査を経て、最終審査で決定します。

◎審査委員（所属・職名は平成25年12月20日現在）

- 大泉 一貫 氏 宮城大学副学長
- 細野 武司 氏 株式会社フィデア総合研究所理事
- 梅津 敏彦 氏 山形県農業総合研究センター所長

10. 結果発表

平成26年3月中旬を目途に受賞者に通知させていただきます。この際、免許証、身分証明書の写しもしくはこれに代わる書類等により予め本人確認をさせていただきます。

また、受賞者及び受賞論文の内容等を本町ホームページに掲載するほか、主要報道機関各社への情報提供をさせていただきます。

11. 受賞論文の表彰及び副賞

(1)表彰は、「飯豊・農の未来賞」1編とします。

(2)賞金及び副賞として、賞金50万円と副賞の飯豊産のつや姫と米沢牛を贈呈します。

12. 表彰式及び受賞論文の発表会

受賞者の方には、4月6日（日）、飯豊町「めざみの里観光物産館」において表彰式にご出席の上、受賞論文に基づきプレゼンテーションを行っていただきます。プレゼンテーションは、パワーポイントを使用していただきます。

なお、上記の日程及び内容でご出席いただけない場合には、受賞決定を取り消す場合がありますのでご注意ください。

13. その他注意事項

(1)論文作成にあたり、飯豊町に関する資料などの問い合わせについては対応できません。町のホームページなどで応募者が独自に調査するものとします。

(2)応募論文及び電子媒体は原則として返却しないものとします。また、応募書類の受理後における差し替えはできません。

(3)応募論文の審査状況に関する問い合わせには一切応じられません。

(4)共同著作物に該当するデータなどを使用する場合は、その使用及び著作権の譲渡継承に関して、共有者全員の承諾を得たものと判断します。

(5)受賞論文及び応募論文の中から選定した論文を掲載した「(仮称)飯豊農業企画提案集」を作成する予定です。この場合、所属名や氏名を含めて掲載することになりますのでご承知ください。

(6)この要領に定めるもののほか、企画提案の募集に必要な事項については、主催者が別に定めるものとします。

別記

「飯豊・農の未来賞」企画提案懸賞論文の原稿作成方法

応募論文の原稿は、以下の規定により執筆してください。

1. 論文の構成と記述方法

タイトル、執筆者名、提案要旨、目次、論文本文、引用文献で構成してください。各構成部分のルールは次のとおりします。なお、字体は、日本語は「明朝体」、外国語は「Century系」の代表的なものを基本とするほか、ポイント数は構成部分ごとに別に指定します。また、構成レイアウトのイメージ図を添付していますので参照してください。

(1) タイトル（明朝体、14ポイント、太字）

選択したテーマ区分に基づいて、企画提案の具体的なタイトルを設定してください。必要に応じてサブタイトルを付すことも可能とします。

(2) 執筆者名（明朝体、11ポイント、標準）

グループでの応募の場合は、執筆者全員の氏名を記載してください。この場合、代表執筆者を選定し、執筆者名の筆頭に記載してください。また、氏名の後尾に※印を付し、所属組織名を記載してください（所属組織がない場合は、「所属組織なし」と記載してください）。

(3) 提案要旨（明朝体、11ポイント、標準）

提案要旨は図表を用いなくて簡潔に提案内容の骨子を1,200字以内で記述してください。

(4) 目次

本文中の見出しに該当ページを記載し、目次として整理してください。

なお、ページ振りについては、目次を1ページとし、論文本文は2ページ以降から、引用文献にもページを振ってください。

(5) 論文本文（明朝体、11ポイント、標準）

①論文本文の文字数は、図表やデータなどを含めて20,000字以内とします。

②論文本文をその内容により区分し見出しをつけてください。（ゴシック体、11ポイント）

例) 1. 課題と背景 2. ○○ビジネスの展開 ... 5. まとめ

③句読点は、テンとマル、数値の単位は%、kgなどの略号、数字は1億2,345万などと表してください。

④引用文献は、本文中の該当部分の右肩に片括弧付きの番号を付してください。

(例) 飯豊町を流れる白川は名峰飯豊山³⁾にその源を発する最上川の支流である。

(6) 引用文献

本文の最後に引用文献として一括して記載してください。なお、本文の最後に整理する引用文献の列記部分は論文本文の制限字数に含めません。

例) <学会誌の場合>

執筆者名、「論文名」、雑誌名、巻号、刊行年月日(西暦)、引用ページ

<書籍類の場合>

執筆者名、「論文名」、編著者名、「書名」、出版社、出版年(西暦)、引用ページ

<ホームページの場合>

<http://www.town.iide.yamagata.jp/> (参照年(西暦)、月)

2. 原稿の書式など

(1) ワードプロソフト「ワード」を用いること基本とします。

(2) 用紙の設定

① A4版、縦置きとします。

② 余白は上・下・左・右をそれぞれに 30mm と設定する。

③ 文字は、横書きとし、一行を全角 35 字、一頁 35 行とします。

この場合、フォントは明朝体、11 ポイントを基本※とします。

④ ページ番号は、下部の余白に入力するものとします。

※フォント、ポイント数を構成部分で個別に指定していますので、基本に設定した上で、指定のフォント、ポイントに変更してください。

(3) 用紙の印刷は、片面印刷とします。

(参考) 構成レイアウト

タイトル (例) 別ページ

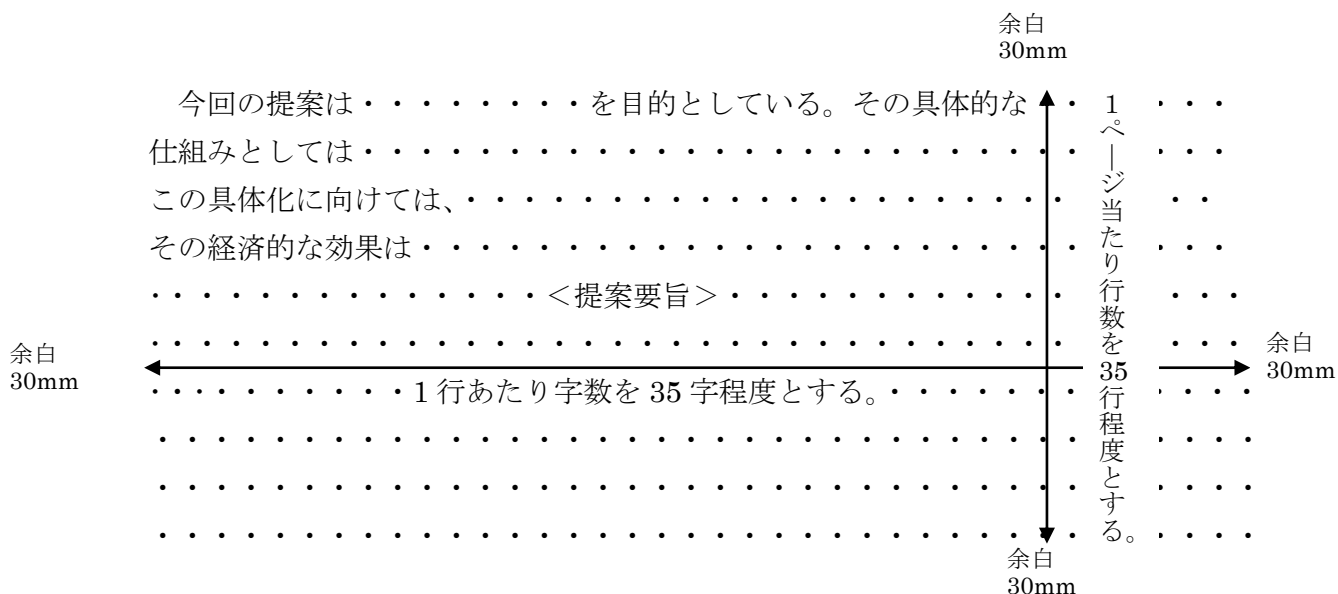
○タイトル○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

～○サブタイトル○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○～

執筆者 氏名：△△ △△△ 所属名：○○ △△△*

* 例 ○○大学○○学部◇年 ○○総合研究所 株式会社○○○

提案主旨 (例) 別ページ

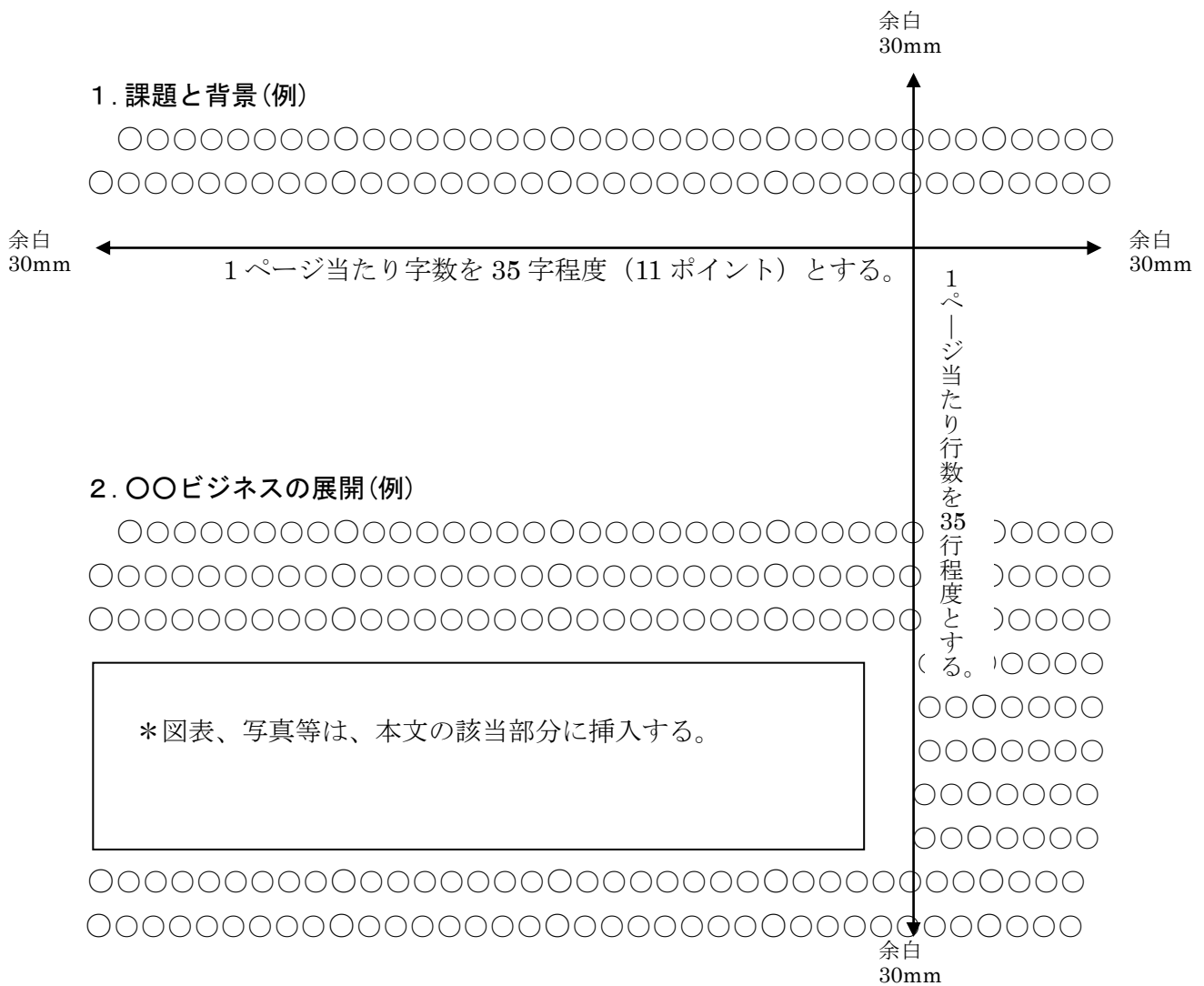


目次 (例) 別ページ

目	次	(頁)
1. 課題と背景(例)	2
2. ○○ビジネスの展開(例)	3
(1) ○○○○○○○○	5
(2) ○○○○○○○○	7
3. ○○○○ 例	9
4. ～		
5. ～		
6. ○○○○○○○○	14
7. まとめ(例)	15

ページ 1 (目次からページを振る)

論文本文(例) ページ



ページ 2 ~

引用文献(例) 別ページ

例) <学会誌の場合>

執筆者名、「論文名」、雑誌名、巻号、刊行年月日(西暦)、引用ページ

<書籍類の場合>

執筆者名、「論文名」、編著者名、「書名」、出版社、出版年(西暦)、引用ページ

<ホームページの場合>

<http://www.town.iide.yamagata.jp/> (参照年(西暦)、月)

ページ X (引用文献にもページを振る)